



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月1日

上場会社名 日本ラッド株式会社
 コード番号 4736 URL <https://www.nippon-rad.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大塚 隆一
 (氏名) 土山 剛
 TEL 03-5574-7800

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,049	8.9	194		175		197	
2020年3月期第3四半期	2,251	2.2	73		68		82	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	37.35	
2020年3月期第3四半期	15.65	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	4,018		2,507		62.4	474.48
2020年3月期	4,460		2,723		61.0	515.20

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 2,507百万円 2020年3月期 2,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	5.0	10	90.3	27	74.8	20	75.9	3.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	5,355,390 株	2020年3月期	5,355,390 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	69,556 株	2020年3月期	69,556 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	5,285,834 株	2020年3月期3Q	5,285,834 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症により企業活動が停滞し経済の落ち込みはあったものの、持ち直しの動きも出てきている中、感染の再拡大による経済活動の制限が続くことにより、いまだ先行きが不透明な状況であります。

このような状況の中、当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、在宅勤務、時差出勤等による感染抑制をしながら、事業活動の継続維持に努めてまいりました。営業活動においては、対面による営業自粛を余儀なくされましたが、電話及びWEB会議を活用し、情報収集及び提案活動を行ってまいりました。また、業務効率促進のための電子署名・電子契約ソリューション販売における業務提携、新型コロナウイルス感染拡大防止ソリューションの販売開始、弊社のビジネス・インテリジェンス領域においては今までカバーしきれなかった新たなお客様層に向けたアプリケーションを事業譲受するなど新規事業の展開に向けた活動を行ってまいりました。しかしながら、経済活動再開後の景気の回復は緩やかであり、顧客企業の業績悪化等による財政見直しにより受注の延期、縮小など依然厳しい事業環境が続いております。

この結果、当社の当第3四半期累計期間の売上高は、20億49百万円（前期比8.9%減）となりました。損益につきましては、営業損失1億94百万円（前年同期は73百万円の損失）、経常損失1億75百万円（前年同期は68百万円の損失）、四半期純損失1億97百万円（前年同期は82百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「エンタープライズソリューション事業」

各業種向けの派遣常駐型システム開発及び受託請負型システム開発案件において、継続受注の更改は堅調であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による納期の延期や案件規模の縮小、緊急事態宣言中においては在宅勤務の対応が困難な常駐先により休業及び業務規模縮小を余儀なくされ稼働が減少いたしました。基幹システムについては堅調に伸びてはおりますが、BIツール関連商品につきましては、納期の延期及び納品物の不具合対応に想定よりも多くの時間を要しました。その結果、売上高は12億61百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

「IoTインテグレーション事業」

インダストリアルIoT分野及び医療IoT分野においては、経済活動再開後は新規受注獲得に向け展示会に参加や電話やWebセールスプロモーションによる営業活動を開拓・継続してまいりましたが、案件引き合いは増加傾向にあるものの、新規受注としての獲得にはまだハードルが高い状況であります。しかしながら、既存顧客からの追加案件による受注増や感染拡大防止ソリューションである「カメラIoTソリューション」の販売は増加しており堅調に推移致しました。医療機関向け自動再来受付システム等の販売・開発につきましては、医療機関においてシステム稼働予定の商談が延期・中止になったことにより、前事業年度に比べて大幅な受注減となりました。自動車搭載セキュリティシステムのロイヤリティ収入等は引き続き堅調に推移致しました。その結果、売上高は7億88百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は35億20百万円となり、前事業年度末に比べ4億92百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が2億40百万円、受取手形及び売掛金が3億35百万円減少し、仕掛品が88百万円増加したこと等によるものです。固定資産は4億97百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円増加いたしました。これは主にソフトウェアが40百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は40億18百万円となり、前事業年度末に比べ4億42百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は5億92百万円となり、前事業年度末に比べ1億28百万円減少いたしました。これは主に買掛金が69百万円、賞与引当金が43百万円減少したことによるものです。固定負債は9億17百万円となり、前事業年度末に比べ98百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億円減少し、退職給付引当金が7百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は15億10百万円となり、前事業年度末に比べ2億27百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は25億7百万円となり、前事業年度末に比べ2億15百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上および配当金の支払いによる利益剰余金の減少2億23百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.4%（前事業年度末は61.0%）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億40百万円減少し、28億54百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用された資金は、39百万円(前年同期は47百万円の獲得)となりました。これは主に売上債権の減少による収入3億25百万円、たな卸資産の増加による支出89百万円、賞与引当金の減少による支出43百万円、税引前四半期純損失1億75百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、74百万円(前年同期比16.0%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5百万円、無形固定資産の取得による支出67百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、1億25百万円(前年同期比2.7%減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1億円、配当金の支払いによる支出25百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2020年8月3日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,094,925	2,854,101
売掛金	751,617	416,400
製品	980	980
仕掛品	53,852	142,202
原材料	27,009	28,208
その他	84,405	78,458
流動資産合計	4,012,789	3,520,351
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,773	8,738
車両運搬具(純額)	3,681	2,759
工具、器具及び備品(純額)	17,697	17,500
有形固定資産合計	31,153	28,997
無形固定資産		
ソフトウェア	38,382	78,602
その他	22,468	26,195
無形固定資産合計	60,851	104,798
投資その他の資産		
投資有価証券	215,480	224,186
その他	184,903	184,209
貸倒引当金	△44,457	△44,277
投資その他の資産合計	355,926	364,118
固定資産合計	447,930	497,914
資産合計	4,460,720	4,018,266
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,416	134,906
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	32,114	8,742
賞与引当金	59,682	16,241
受注損失引当金	21,593	18,692
その他	283,435	294,152
流動負債合計	721,243	592,734
固定負債		
長期借入金	360,000	260,000
退職給付引当金	447,183	454,696
資産除去債務	2,011	2,022
長期末払金	207,018	200,815
固定負債合計	1,016,214	917,533
負債合計	1,737,457	1,510,267

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,480	1,239,480
資本剰余金	973,222	973,222
利益剰余金	529,440	305,594
自己株式	△32,271	△32,271
株主資本合計	2,709,871	2,486,026
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,391	21,973
評価・換算差額等合計	13,391	21,973
純資産合計	2,723,263	2,507,999
負債純資産合計	4,460,720	4,018,266

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,251,284	2,049,854
売上原価	1,817,984	1,828,222
売上総利益	433,300	221,631
販売費及び一般管理費	506,569	416,040
営業損失(△)	△73,269	△194,408
営業外収益		
受取利息	3,238	4,644
受取配当金	2,601	13,536
助成金収入	—	6,990
受取補償金	1,044	—
その他	498	659
営業外収益合計	7,381	25,831
営業外費用		
支払利息	1,968	1,541
為替差損	662	5,108
営業外費用合計	2,630	6,649
経常損失(△)	△68,519	△175,226
特別利益		
新株予約権戻入益	900	—
資産除去債務戻入益	553	—
特別利益合計	1,453	—
特別損失		
固定資産除却損	14	0
特別損失合計	14	0
税引前四半期純損失(△)	△67,080	△175,226
法人税等	15,651	22,189
四半期純損失(△)	△82,731	△197,416

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△67,080	△175,226
減価償却費	24,327	31,761
退職給付引当金の増減額(△は減少)	264	7,512
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,672	△43,441
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△287	△180
受注損失引当金の増減額(△は減少)	13,821	△2,901
受取利息及び受取配当金	△5,839	△18,181
支払利息	1,968	1,541
受取補償金	△1,044	-
為替差損益(△は益)	125	4,756
助成金収入	-	△6,990
有形固定資産除却損	14	0
資産除去債務戻入益	△553	-
新株予約権戻入益	△900	-
売上債権の増減額(△は増加)	273,437	325,778
たな卸資産の増減額(△は増加)	△110,803	△89,549
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,025	△69,510
その他	△7,522	12,729
小計	83,577	△21,901
利息及び配当金の受取額	2,651	13,672
利息の支払額	△2,330	△1,796
補償金の受取額	1,044	-
助成金の受取額	-	6,990
法人税等の支払額	△37,518	△36,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,424	△39,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,276	△5,402
無形固定資産の取得による支出	△19,321	△67,686
投資有価証券の取得による支出	△54,709	-
差入保証金の差入による支出	△4,009	-
差入保証金の回収による収入	1,970	-
貸付金の回収による収入	-	850
その他	△1,949	△1,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,295	△74,188
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△102,300	△100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△297	-
配当金の支払額	△26,247	△25,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,845	△125,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	△196	△2,091
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,913	△240,824
現金及び現金同等物の期首残高	3,250,850	3,094,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,080,937	2,854,101

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期累計期間において、新たな追加情報の発生及び前事業年度の有価証券報告書に記載した情報等についての変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズソ リューション事業	IoTインテグレーシ ョン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,369,581	881,702	2,251,284	-	2,251,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,861	98	5,959	△5,959	-
計	1,375,443	881,800	2,257,243	△5,959	2,251,284
セグメント利益又は 損失(△)	230,111	3,875	233,986	△307,256	△73,269

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△307,256千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	エンタープライズソ リューション事業	IoTインテグレーシ ョン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,261,071	788,782	2,049,854	-	2,049,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,655	8	8,663	△8,663	-
計	1,269,727	788,790	2,058,518	△8,663	2,049,854
セグメント利益又は 損失(△)	124,133	△47,028	77,104	△271,512	△194,408

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△271,512千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。